

# 法人名 (公財)山梨県緑化推進機構

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	棚本 邦由		所管部(局)課	森林環境部みどり自然課		
所在地	甲府市丸の内5-1-4		電話番号	055-226-6279		
ホームページURL	<a href="http://www.y-ryokka.or.jp/">http://www.y-ryokka.or.jp/</a>		E-mailアドレス	info@y-ryokka.or.jp		
資本金(基本財産)	1,031,256	千円	設立年月日	平成2年1月31日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	経済団体等		539,542	千円	52.3 %
	2	山梨県		300,000	千円	29.1 %
	3	市町村		100,006	千円	9.7 %
	4	緑の羽根募金他		91,708	千円	8.9 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
その他	団体(者)			千円	0.0 %	
設 目 経 緯 概 況 等	県土の緑を守り、育てる県民運動を推進していくため、平成2年1月「(財)山梨県みどりの基金」として設立。 平成7年11月、緑の募金による森林整備等の推進に関する法律の施行に伴い「(財)山梨県緑化推進機構」に名称変更。 公益法人改革により、平成23年1月に「(公財)山梨県緑化推進機構」に移行。					

## 【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H22年度	H23年度	H24年度
事業1 緑の基金運用益による事業	・緑化活動普及啓発事業 ・青少年等緑化推進事業	15,648	13,172	11,647
事業2 緑の募金収入による事業	・森林整備公募事業 ・緑化推進公募事業 ほか	51,908	65,365	44,259
事業3				

## 【組織】

年度	平成23年度					平成24年度					平成25年度							
	職 員	プロ パ ー 員	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パ ー 員	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パ ー 員	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他
4月1日現在の人員																		
役員	理事(常勤)	1			1		1			1		1			1			
	理事(非常勤)	11				11	11				11	11						11
	監事(常勤)	0					0					0						
	監事(非常勤)	2				2	2				2	2						2
	評議員	12				12	12				12	12						12
計	26	0	0	1	25	26	0	0	1	25	26	0	0	1	25			
職員	管理職	1		1			1		1			1		1				
	一般職員	0					0				0							
	臨時職員	1				1	1				1	1						1
	非常勤職員	0					0				0							
計	2	0	1	0	1	2	0	1	0	1	2	0	1	0	1			
プロパー職員の年齢構成 (H26. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計										
	男性							0	役員									(千円)
	女性							0	常勤									※
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	職員								(千円)	

※常勤役員は1名のため、個人情報保護の観点から、非公表

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
正味財産の状況	基本財産運用益	13,092	13,164	10,606	△ 2,558
	受取会費・受取寄付金	58,929	55,606	55,454	△ 152
	受託事業収益	1,523	0	0	0
	自主事業収益	0	0	0	0
	受取補助金等	5,676	13,623	8,566	△ 5,057
	その他の収益	10,896	749	757	8
	経常収入 計	90,116	83,142	75,383	△ 7,759
	事業費	75,806	75,460	62,381	△ 13,079
	うち人件費	7,490	6,840	5,829	△ 1,011
	管理費	11,734	10,506	10,361	△ 145
	うち人件費	6,138	5,631	4,770	△ 861
	経常支出 計	87,540	85,966	72,742	
	当期経常増減額	2,576	△ 2,824	2,641	5,465
	経常外収入	0	763	0	△ 763
	経常外支出	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	763	0	△ 763	
当期一般正味財産増減額	2,576	△ 2,061	2,641	4,702	
当期指定正味財産増減額	△ 9,790	68	1,635		
正味財産期末残高	1,159,223	1,155,239	1,159,515	4,276	

(単位:千円)

項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
財務状況	流動資産	73,770	81,144	90,006	8,862
	固定資産	1,086,390	1,086,950	1,089,293	2,343
	資産 計	1,160,160	1,168,094	1,179,299	11,205
	流動負債	544	12,462	19,234	6,772
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	393	393	550	157
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	937	12,855	19,784	6,929
	正味財産	1,159,223	1,155,239	1,159,515	4,276
	うち基本財産への充当額				
うち特定資産への充当額					

(単位:千円)

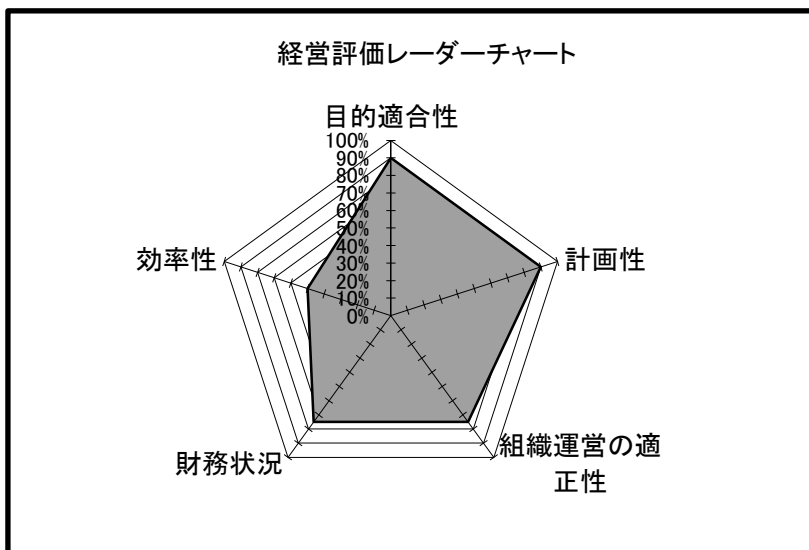
項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金	1,551	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	1,551	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	1,551	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金				0
	人件費以外の委託金	1,523	0	0	0
	委託金 計	1,523	0	0	0
	県支出金 計	3,074	0	0	0
	県の財政的関与の割合(%)	3.4	0.0	0.0	0
	県貸付金残高				0
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	18	90.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	18	90.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	33	75.0%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	7	28	14	50.0%
合計		32	128	95	74.2%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	地球温暖化防止などの環境問題への関心が高まっている中で、森林整備、緑化推進など環境保全の取り組みの重要性は増しており、業務の公益目的への適合性は高い。
計画性	平成23年1月に作成した山梨県緑化推進機構経営計画に基づき、山梨県緑化計画の方針を実現すべく県や市町村、関係団体等との連携のもとに、計画性を持って事業を行っている。
組織運営の適正性	常勤理事、県派遣職員、臨時職員の3名という必要最小限の体制で効率的な組織運営を行っている。また、組織運営状況等は広報誌等で広く公開して透明性の確保に努めている。
財務状況	公益認定を受けたことから収支については、収支相償が原則であり、連年大幅な黒字を計上すると適正な収入ではないと判定されるため、今後は収支相償を目標とする。
効率性	必要最小限の人数で経営を行ってきたが、地区緑化推進組織をはじめとした関係団体や県との連携を密にし、なお一層の効率的な事業実施に向けて改善に取り組んでいく。
総合的評価	本県の緑化推進や環境教育をさらに発展させていくため、当機構は行政と民間の橋渡しをする重要な役割を担っていることから、より一層事業を充実させるとともに、効率的に展開していく必要がある。



対応策	減少傾向にある募金の確保を図るため、緑の募金協賛団体の拡大など新たな募金協力者の掘り起こしや、窓口募金、学校募金などこれまで募金額が少額であった募金の拡大にも積極的に取り組む。 事業については、緑の募金公募事業への応募件数が横ばい傾向にあるため、次年度事業を公募する際には、新聞等へ募集記事の掲載するなど事業の広報に努め、県内各地からの新規の申請が多数あるよう、応募者の掘り起こしに積極的に取り組む。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	近年、地球温暖化防止やストレス社会における緑の癒し効果など、緑の必要性に対する認識の高まりとともに、緑化の推進の重要性はより一層増している。この中で、県と連携して緑化の推進に取り組む推進機関として、当法人が行っている業務は、公益目的に適合している。
計画性	平成23年に策定した「(公財)山梨県緑化推進機構経営計画(5ヶ年計画)」に基づき、県が行う緑化推進施策と連携を図りながら、計画的に事業を実施している。
組織運営の適正性	業務内容に整合した3名の執行体制により、業務規定に則り、適正な業務水準を維持している。また、情報の公開については、広報誌のほかホームページやパンフ配布等により財務状況や活動内容を公開しており、透明性が確保されている。
財務状況	公益法人の「収支相償」を基本とする環境のもと、基本財産の適正な運用及び緑の募金収入の安定的確保に向けた運営に取り組んでいる。なお、基本財産の運用については、適宜情報収集を行い、安全性を十分考慮する中で、健全かつ効率的な経営に努める必要がある。
効率性	収益事業は一切実施していないため、効率性は低評価となったが、県や関係団体と連携して、事業に整合した執行体制のもと、効率的な業務の執行に努めている。今後、より一層の管理コスト削減や業務の効率化に向けた取り組みを進める必要がある。
総合的評価	現在、緑化の推進の重要性が一層増す中で、当法人が行っている業務は、行政が行う緑化推進施策と連携し、一体的かつ効率的に実施されている。今後、より多くの県民参加による森づくりや緑化を推進していくためには、緑化推進事業の財源となる募金収入と基金運用の安定的な確保と県民ニーズに即した事業の執行に取り組む必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">財務状況</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">A (75%~)</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">D (~50%)</div> </div>
※ ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常勤役員、県派遣職員、臨時職員の計3名という組織体制の中で、経費削減の取り組みなどの努力を行なっている。</li> <li>・ 柱となる緑の募金の収入や補助金によって公益性の高い事業を行なっているが、募金収入の減少が続いている。</li> <li>・ 負債はなく、財務上の基盤は安定しており、経営上の問題はないが、減少傾向である収入の確保に向け、効果的な啓発活動などを行うとともに、事業を効率的に実施することにより、収支のバランスを保つよう努める必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<p>・当法人は、公益目的事業を行うことを目的としており、収益事業は実施していないため、収益性を問う効率性の項目において低評価となった。このため、減少傾向にある募金収入の増加に向けて、新たな緑の募金協賛企業の掘り起こしや窓口募金などの拡大に積極的に取り組むとともに、緑の募金を活用した緑化推進事業の普及啓発を強化することにより、効率性の向上に取り組んでいく。</p>
---